

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和5年度～令和9年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（おおすみ） 大隅森林計画区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 大隅森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、鹿児島県の大隅半島の中央部に位置する鹿屋市を含む4市5町に所在する約49千haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は人工林約30千ha（人工林率63%）となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹ではシイ・カシ類となっている。</p> <p>本計画区は、鹿児島県東部の大隅半島の最南端から北部に位置し、西部には、大笠柄岳を主峰とする高隈山系があり、北部は宮崎県境、霧島山系がある。東南部には、国見山を主峰とする国見山系や稲尾岳等があり、太平洋に注ぐ安楽川や菱田川、鹿児島湾に注ぐ本城川等の河川の集水域である。</p> <p>また、水源かん養保安林が全体の74%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な観光資源に恵まれていることから、レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されているとともに、豊かな森林資源を利用した木材加工業等も地域の重要な産業である。</p> <p>このため本計画の事業実施にあたっては、林産物の継続的かつ計画的な供給や地域振興への寄与はもとより、国土の保全、自然環境の保全、生物多様性の保全等にも十分配慮しつつ、森林吸収源対策として間伐及び主伐とその後の再生林に積極的かつ着実に取り組むとともに、地域の現状を踏まえ、資源の循環利用を行いながら多様で健全な森林の整備・保全を推進する。</p> <p>具体的には、伐採と造林の一貫作業の定着、下刈の回数を減らす等の低コスト造林の導入・定着や、UAVやICTの活用など新たな林業技術の導入等によるトータルコストの削減に取り組み、森林の公益的機能が高度に発揮されるよう施業方法に応じた計画的な低コストで強靱な林業専用道の開設及び既設林道の機能向上のための改良工事を併せて実施する。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>683ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,608ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.3km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>24.9km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 5,645,835千円（税抜き 5,132,577千円）</p>			森林整備	更新面積	683ha		保育面積	5,608ha	路網整備	開設延長	19.3km		改良延長	24.9km
森林整備	更新面積	683ha													
	保育面積	5,608ha													
路網整備	開設延長	19.3km													
	改良延長	24.9km													

費用便益分析	<p>総便益（B）                    27,930,165 千円</p> <p>総費用（C）                    7,053,587 千円</p> <p>分析結果（B／C）            3.96</p>
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資することや事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。また、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所を整備を優先することや、森林整備事業箇所へのアクセスを向上させる路網設計を採用することにより、コスト縮減を図ることとしている。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画等に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>事業実施地区において、新規要望箇所チェックリストに定められている必須事項の評価内容を満たすとともに、優先配慮事項の事業の有効性や効率性等が認められる。</p>

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業+路網整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：鹿児島県

施行箇所：大隅森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,844,890	
	流域貯水便益	1,907,669	
	水質浄化便益	6,957,742	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,113,666	
環境保全便益	炭素固定便益	1,261,055	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,076,813	
	木材利用増進便益	269,662	
	木材生産確保・増進便益	2,779,397	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	5,719,271	
総 便 益 (B)		27,930,165	
総 費 用 (C)		7,053,587	
費用便益比	$B \div C = \frac{27,930,165}{7,053,587} = 3.96$		

# 令和4年度 林野公共事業評価

「令和5年度 新規採択事業に係わる事前評価実施計画区」位置図

## 大隅森林計画区 (大隅森林管理署管内)



森林整備  
コンテナ苗の搬入



植栽状況



路網整備  
路網開設



路網開設

